



新年のご挨拶

東栄町長

村上孝治

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、穏やかな笑顔溢れる新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から町政に対し深いご理解とご支援を賜り心より厚くお礼申し上げます。

さて、皆様からの力強いご支援をいただき町長に就任して間もなく三年になろうとしております。就任以来、貫して町民の皆様との対話による町民参加のまちづくりを念頭に多くのご意見を伺う場を設け「公平・公正な町政の推進」を基本に、新しい風を吹き込み、今後の基盤づくりを進めてまいりました。

依然として人口減少は続いていますが、ここ数年、若い世代の方たちが町内に戻りつづあります。また、移住者も増えてきております。こうした方々が、同じ夢や目標を共有しながら、それぞれの役割を果たして取り組んではいただけますが、本町のまちづくりについているところが、本町のまちづくりにつながると信じています。

本年も引き続き、第6次東栄町総合計画の

4つの重点施策を中心に進めてまいります。

一つ目の支えあう健康福祉のまちづくりでは、東栄町の医療をなくさないために、東栄町にふさわしい地域包括ケアシステムを構築し、医療センターと保健福祉センター（仮称）の整備を進めます。子育て支援の充実を

図るため、新保育園の整備に向け、しっかりと取り組んでまいります。二つ目の活力あるまちづくりでは、昨年4月に設立した観光まちづくり協会を中心、地域が主役の新しい観光を目指し、さらに力を入れて進めてまいります。振草川の鮎が、昨年9月の全国清流めぐり利き鮎会において、初のグランプリを獲得したことを機に、漁協と一緒に草川の活性化に向け、取り組んでまいります。

また、鶴の市イベントとして開催したチキングルメレシピコンテストには、東三河地域から190点もの応募をいただきました。町内飲食店において行われているチキングルメスタンプラリーを通じて、地域が育てた味を発信し、まちの活性化につなげてまいります。

そして三つ目の定住交流を支えるまちづくりでは、若者定住奨励金や移住者通勤支援補助金などを引き続き実施するとともに、空き家バンクも充実させ、移住定住をさらに促進します。四つ目の協働によるまちづくりでは、町民の方と町職員が平成27年から策定作業を進め、まとめていただいた「まちづくり基本条例」が議決されましたので、今後は変わることのない町の指針としてまいります。

道路関係では、三遠南信自動車道の佐久間・東栄間が、いよいよ平成30年度開通となります。東栄・鳳来峡方面も順調に工事が進んでいます。国道473号の月バイパス開連での国道151号の奈根工区や県道八橋中設楽線（布川交差点）など時間は掛かりますが着実に進んでいます。

東栄の未来を決定づけるであろう重要な時期に、まちづくりの船頭役を任せられた責任を果たすべく、ふるさと東栄を将来の世代にしっかりと自信をもつて引き継げるよう、全力で取り組んでまいります。町民の皆様には、引き続き深いご理解と力強いご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

結びに、皆様にとりましても、東栄町にとりましても幸多からん素晴らしい年となりますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。